特別養護老人ホームあゆみえん広報誌

あゆみ ayumi

vol.110

令和6年
新春号

ごあいさつ

新年おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が令和元年 12 月初旬、中国武漢市で第一例目の感染者が報告されてから昨年５月８日付けで「５類感染症」へ変更されました。最初の感染者確認から３年半に渡り不自由な生活を強いられました。その間、職員一同できる限りの対応策を考え、これに当たってきました。

いま、巷はコロナのリバウンドのようで何処に行っても人の波です。品川駅は多くの外国人で賑わっています。

しかし、私たちが働く施設の中は未だ未だ油断ができません。重症化はしないようになった様ですが、施設の中にひとたび新型コロナウイルス感染症患者が発生すると、感染拡大を防ぐために対応を迫られます。未だ未だ油断のできない毎日ですが、職員一丸となって対応しています。

とは言え、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、昨年は少しずつイベントも実施するようになりました。家族の方の来園も未だ不自由なところはありますが、以前の状態に近づいてきました。４年ぶりに各施設納涼祭を再開しました。大勢の方に来園していただきありがとうございました。

今年はコロナ前に戻るというより、それ以上に皆さんにとって良い一年だったと振り返っていただけるように、職員一同楽しく、一生懸命仕事をしたいと考えます。もちろん基本介護に忠実に、日常の何でも無い生活を大切にしながら、創意工夫をしながらより良い介護サービスの提供に努めます。

皆さんの温かい支援をお願いします。

令和６年正月

社会福祉法人　徳心会　理事長　関根陸雄

法 人 理 念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」

あゆみ保育園だより

冬休みが終わり子どもたちの元気な声、足音、笑い声が園内に戻ってきました。新しい年のスタートです。今年も、子どもたちと一緒に笑顔で園生活が送れるよう、子どもたちの思いを受け止めながら、職員一同力を合わせて保育していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

１月５日の新年の集いには小さな獅子舞が登場します。獅子舞には幸せを招くと共に厄病退治や悪魔払いの意味があり、獅子に頭をかまれるとその年は無病息災で元気に過ごせるという言い伝えもあります。今年一年、みんなが幸せに過ごせますよう、子ども達と獅子にお願いしました。

あゆみ保育園　園長　濵中 美穂

デイサービスセンター

あゆみえんです！

昨年は新型コロナウイルス感染症も徐々に落ち着き、デイサービスでは以前のように外出レクを行うことが出来ました。近くの牧場に冷たいジェラートを食べに行ったり、イチョウの紅葉を見に公園を散歩したり。いつものデイルームを飛び出して外で過ごす事ができました。今年もまだ始まって少しですが初詣に行き神社に参拝に行ったり、花の咲く時期にはチューリップ畑にお出かけする計画も考えています。寒い時期が続きますが体調を崩さぬよう気を付けて、いつまでも元気な体力を保ってデイサービスを楽しんでいただきたく思います。

介護事業部第１課　金子知雄

クリスマス会

１２月 25 日（月）クリスマス会を行いました。

あゆみ保育園児によるかわいらしい歌の披露、EPA 職員によるギター演奏、職員によるミュージックベル演奏をみなさまと一緒に聴きました。

その後、みなさまから保育園児にクリスマスプレゼントを渡していただき世代間での交流ができました。

午後はユニットでケーキを食べたり紅茶を飲んだりしながら過ごされ笑顔の多いクリスマス会となりました。

相談課　課長　諸江光宣

通所型体力向上教室

写真は今回教室にお誘いした利用者様が、「誘ってくれてありがとう」とのことでそのお礼にと時間を掛けて作ってくださった作品です。

羽村市地域包括センターあゆみでは、コロナ禍の影響や持病の悪化等で以前より身体機能の低下が気になっている方など 22 名の皆さんが７月～９月まで通所型体力向上教室へ参加されました。

通所型体力向上教室とは、週１回、３か月間専門職の個別指導を受け、日常生活の改善と自宅でのトレーニング方法を身につけることで心身の改善を図る事業です。

写真は今回教室にお誘いした利用者様が、「誘ってくれてありがとう」とのことで、そのお礼にと時間を掛けて作ってくださった作品です。１年前から支援を担当していましたが、コロナ禍で地域との交流が減少し自宅で閉じこもり状態となり持病の悪化で不安も強くなっていました。いざ利用を開始されると意欲的に取り組まれ身体機能も改善され、もともと趣味であった作品作りに再挑戦されるなど生活意欲も取り戻すことができました。今後も利用者様お一人おひとりに寄り添った支援を続けていきます。　在宅事業部第２課　木住野雅之

餅つき

令和５年12月18日（月）約２年ぶりとなる餅つきを行いました。

新型コロナウイルス感染症も徐々に落ち着き始め、みなさまとあゆみ保育園の園児と一緒に餅つきを行うことができました。

参加者 80 人を超える規模での餅つきは、保育園児との世代交流もあり職員共に笑顔があふれる行事となりました。職員一同みなさまに喜んでいただける行事を行い、笑顔あふれる日常にしていきたいと思います。

介護事業部第２課　関根蓮馬

青梅紹介 ～岩蔵～

前号の成木地区から江戸に石灰を運ぶ道の、小高い峠の途中に「岩蔵の大岩」があります。高さ４～５m、横幅約 25 mの、ほぼ垂直に立つこの岩は立川断層の一部です。日本武尊（やまとたけるのみこと）がこの岩の穴に鎧を収めたという伝説があり、岩蔵という地名の由来になったと言われています。

実際に訪れてみると、民家の間の細い道を上って、手入れされた山道に入り、木々のトンネルを抜けた先に突然大きな岸壁が現れて圧倒されます。近所のうどん店のご主人によると、この岩の前で音楽イベントが催されたこともあるそうで、地元の方々に親しまれている場所でした。小曾木街道の新岩蔵大橋交差点から歩いて 300 mほど、大地のパワーを感じられます。

総務課　福岡直子

□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 0428-30-5550

あゆみ VOL.110

発　行　社会福祉法人　徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 東京都青梅市新町９丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550　FAX.0428-30-5570
発行人　統轄園長　笛木昭宏
編集人　広報委員長　諸江光宣
発行日　令和6年1月15日
E-mail　ayumien@tokushinkai.jp
H　P　https://tokushinkai.jp/

※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

あけましておめでとうございます。

アッという間に冬になったように思います。

秋、皆さんは見つけられたでしょうか。

私は季節のフルーツでかろうじて秋を感じましたが、常に夏に片足を、冬にもう片足を突っ込んでいる様な気持ちで過ごしていました。

冬は全力で楽しもうと思います。

介護事業部第５課　久保田萌奈